

4 看護学部

1) 平成19年度時間割

① 1年前期

		月		火		水	木	金
		前半(4/9~)	後半(6/4~)	前半(4/10~)	後半(5/29~)			
1	9:00 ∩ 10:30	形態機能学Ⅰ 高野				情報リテラシーⅠ 原	環境を考える 矢部	情報リテラシーⅠ 原
						情報リテラシーⅠ 大淵		情報リテラシーⅠ 大淵
2	10:40 ∩ 12:10	形態機能学Ⅰ 高野		看護学原論 河野		札幌を学ぶ 原	日本語表現法 千葉 英語ⅠB 松井 英語ⅠB 向井 英語ⅠC マッドヴァ 英語ⅠA 大野	哲学と倫理 山田(友)
3	13:10 ∩ 14:40	地域保健学概論 清水		看護観察技術論 大野 佐藤		英語ⅠA 水島 英語ⅠA 亘理	日本語表現法 千葉 英語ⅠB 松井	現代社会と家族 原
		加藤 新納		星 ※隔週開講		英語ⅠB 白土 英語ⅠC 山田(バ)	英語ⅠB 向井 英語ⅠC マッドヴァ 英語ⅠA 大野	
4	14:50 ∩ 16:20			看護観察技術論 大野 佐藤 星 ※隔週開講		英語ⅠA 水島 英語ⅠA 亘理 英語ⅠB 白土 英語ⅠC 山田(バ)	スタートアップ演習 原・河野※ ※他両学部教員計20名	基礎カウンセリング 小坂 英語ⅠC 山田(バ) 英語ⅠC マッドヴァ 英語ⅠA 大野 英語ⅠB 白土
5	16:30 ∩ 18:00					人間関係を考える 椿	スタートアップ演習 原・河野※ ※他両学部教員計20名	基礎カウンセリング 小坂 英語ⅠC 山田(バ) 英語ⅠC マッドヴァ 英語ⅠA 大野 英語ⅠB 白土

※集中講義：看護初期実習 6月11日～15日
看護初期実習オリエンテーション 5月8日

② 1年後期

		月		火		水	木	金
		前半(10/1~)	後半(12/3~)	前半(10/2~)	後半(11/27~)			
1	9:00 ∩ 10:30	形態機能学Ⅱ 高野		薬理学 富樫	看護過程論 大野 佐藤 渡邊		体のしくみ 田中	情報リテラシーⅡ 原 情報リテラシーⅡ 大淵 手話 高橋
2	10:40 ∩ 12:10	形態機能学Ⅱ 高野		看護理論 中村	看護過程論 大野 佐藤 渡邊	英語ⅡA 水島 英語ⅡA 亘理 英語ⅡB 白土 英語ⅡC マッドヴァ	統計の世界 原	情報リテラシーⅡ 原 情報リテラシーⅡ 大淵 手話 高橋
3	13:10 ∩ 14:40	基礎看護技術論 樋之津		病理病態学 小林		英語ⅡA 水島	対人コミュニケーション 町田	プレゼンテーション 原、齋藤(利)、 吉田(和)
		大野 佐藤 渡邊 星 藤井 菊地				英語ⅡA 亘理 英語ⅡB 白土 英語ⅡC マッドヴァ	英語ⅡB 向井 英語ⅡB 松井 英語ⅡC 山田(バ) 英語ⅡC マッドヴァ 英語ⅡA 大野 英語ⅡB 松井	英語ⅡC 山田(バ) 英語ⅡC マッドヴァ 英語ⅡA 大野 英語ⅡB 松井
4	14:50 ∩ 16:20	基礎看護技術論 樋之津		病理病態学 小林		宗教と思想 堀	対人コミュニケーション 町田	プレゼンテーション 原、齋藤(利)、 吉田(和)
		大野 佐藤 渡邊 星 藤井 菊地				英語ⅡB 向井 英語ⅡB 松井 英語ⅡC 山田(バ) 英語ⅡA 大野 英語ⅡB 松井	英語ⅡC 山田(バ) 英語ⅡC マッドヴァ 英語ⅡA 大野 英語ⅡB 松井	
5	16:30 ∩ 18:00	感染予防論 滝沢		人間発達援助論 宮崎 松浦 中村 坂倉		心のしくみ 橋本	芸術と文化 望月	現代社会と経済 近藤

※集中講義：基礎看護学臨地実習Ⅰ 10月29日～11月2日

概要

教育活動

研究活動

社会活動

平成20年度入学者選抜結果

附属図書館

役員会
及び教育
研究審議会

学内運営の概要

資料

③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (4/9 ~)	後半 (6/18 ~)		前半 (4/11 ~)	後半 (6/13)	前半 (4/12)	後半 (6/21)	前半 (4/13 ~)	後半 (6/22 ~)
1	9:00 ∩ 10:30	社会福祉学		実践英語A 松井	生命科学			環境保健	人間工学	
		大内		実践英語A 水島 ロシア語 ジダーノフ	山田(恵)			加藤	樋之津 田中	
2	10:40 ∩ 12:10	疾病治療学B	向井	実践英語A 松井	疾病治療学概論	富樫	疾病治療学A	小倉	臨床栄養学	高野
				実践英語A 水島 ロシア語 ジダーノフ 中国語 照井						
3	13:10 ∩ 14:40	成人看護学概論	家族社会学	ジェンダーを考える 笹谷	生命倫理		症状マネジメント論	樋之津	老年看護学概論	
		中村	原	中国語 照井	村上		大野 須田 藤井	坂倉		
4	14:50 ∩ 16:20		成人看護援助論	現代社会と国際関係 佐々木	医療情報		症状マネジメント論	樋之津		
			中村	中国語 照井	櫻井		大野 須田 藤井			
5	16:30 ∩ 18:00		成人看護援助論	グループ・ダイナミクス 鹿内	医療情報					
			中村		櫻井					

※集中講義：基礎看護学臨地実習Ⅱ 5月21日～6月1日
 基礎看護学臨地実習Ⅱオリエンテーション 5月7日
 公衆衛生学 9月10日～11日
 精神看護学概論 6月20日、6月27日、7月18日、7月25日

④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (10/1 ~)	後半 (12/3 ~)		前半 (10/3 ~)	後半 (12/12 ~)	前半 (10/4 ~)	後半 (12/13 ~)	前半 (10/5 ~)	後半 (12/14 ~)
1	9:00 ∩ 10:30	看護倫理学	精神看護援助論	健康とスポーツ 服部	韓国語	松田	臨床薬理学	唯野		在宅看護援助論
		宮崎	守村 阿保 安田							菊地 坂倉 工藤
2	10:40 ∩ 12:10	在宅看護学概論	精神看護援助論	教育を考える 小内	臨床心理学		母性看護学概論			在宅看護援助論
		中村	守村 阿保 安田		葛西		宮崎			菊地 坂倉 工藤
3	13:10 ∩ 14:40		小児看護学概論	実践英語B 山田(バ)	疾病治療学C	三澤	援助の人間関係論		老年看護援助論	がん看護学
			松浦				大野 樋之津 藤井		坂倉 東出	樋之津 松山
4	14:50 ∩ 16:20		感染管理論	韓国語 松田			援助の人間関係論		老年看護援助論	がん看護学
			スーディ 石角				大野 樋之津 藤井		坂倉 東出	樋之津 松山
5	16:30 ∩ 18:00		チーム医療論				手話	高橋		
			河野 中村							

※集中講義：成人看護学臨地実習Ⅰ 11月5日～23日

概要

教育活動

研究活動

社会活動

平成20年度入学者選抜結果

附属図書館

役員会
及び教育
研究審議会
経営審議会

学内運営の概要

資料

2) カリキュラム

① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	単位数		配当 年次	修得 単位数	
		必修	選択			
共通 教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2		1年前期 2単位	
	教養科目	文化に対する 理解	哲学と倫理	2	1年前期	4単位 以上
			宗教と思想	2	1年後期	
			芸術と文化	2	1年後期	
			環境を考える	2	1年前期	
			教育を考える	2	2年後期	
	人間に対する 理解	心のしくみ	2	1年後期	4単位 以上	
		体のしくみ	2	1年後期		
		ジェンダーを考える	2	2年前期		
	社会に対する 理解	現代社会と国際関係	2	1年前期	6単位 以上	
現代社会と経済		2	2年前期			
礼儀を学ぶ		2	1年前期			
コミュニ ケーション 科目	外国語	英語ⅠA	1	1年前期	8単位 以上	
		英語ⅠB	1	1年前期		
		英語ⅠC	1	1年前期		
		英語ⅡA	1	1年後期		
		英語ⅡB	1	1年後期		
	コミュニケーション・ 情報技術	実践英語A	1	2年前期	4単位 以上	
		実践英語B	1	2年後期		
		韓国語	1	2年後期		
		中国語	1	2年前期		
		ロシア語	1	2年前期		
合計					28単位以上	

区分	授業科目の名称	単位数		配当 年次	修得 単位数	
		必修	選択			
専門 教育科目	人間と命	形態機能学Ⅰ	2	1年前期	5単位 以上	
		形態機能学Ⅱ	2	1年後期		
		生命科学	1	2年前期		
		生命倫理	1	2年前期		
		環境保健	1	2年前期		
		人間工学	1	2年前期		
		健康と 健康障害と予防	薬理学	1		1年後期
	臨床薬理学		1	2年後期		
	臨床栄養学		1	2年前期		
	保健と 医療と福祉	病理病態学	2	1年後期	6単位 以上	
疾病治療学概論		1	2年前期			
疾病治療学A		1	2年前期			
疾病治療学B		1	2年前期			
疾病治療学C		1	2年後期			
感染予防論		1	1年後期			
公衆衛生学		社会福祉学	1	2年前期		6単位 以上
		家族社会学	1	2年前期		
		チーム医療論	1	2年後期		
		感染管理論	1	2年後期		
	臨床心理学	1	2年後期			
	地域保健学概論	1	1年前期			
	保健医療福祉制度論	1	3年前期			
保健統計	1	3年前期				
医療情報	1	2年前期				
合計					21単位以上	

区分	授業科目の名称	単位数		配当 年次	修得 単位数	
		必修	選択			
看護の 基盤と なるもの	ヒューマンケアの 基本	看護学原論	1	1年前期	7単位	
		看護理論	1	1年後期		
		援助的人間関係論	1	2年後期		
		人間発達援助論	1	1年後期		
		看護初期実習	1	1年前期		
		看護倫理学	1	2年後期		
		健康教育指導法	1	3年後期		
	看護の 基本的展開	看護過程論	1	1年後期	10単位	
		看護観察技術論	1	1年前期		
		症状マネジメント論	2	2年前期		
健康レ ベルに 応じて 生活 を援助 するもの	小児	看護看護学概論	1	2年後期	5単位	
		看護看護援助論	1	3年前期		
		看護看護技術論	1	3年後期		
	母性	母性看護学概論	1	2年後期	5単位	
		母性看護援助論	1	3年前期		
		母性看護技術論	1	3年後期		
	成人	成人看護学概論	1	2年前期	8単位	
		成人看護援助論	1	2年前期		
		成人看護技術論	1	2年前期		
	老年	成人看護学臨床実習Ⅰ	3	2年後期	8単位	
成人看護学臨床実習Ⅱ		2	3年前期			
成人看護学臨床実習Ⅲ		2	3年前期			
精神	老年看護学概論	1	2年前期	6単位		
	老年看護援助論	1	2年後期			
	老年看護技術論	1	3年後期			
在宅	老年看護学臨床実習Ⅰ	1	3年前期	6単位		
	老年看護学臨床実習Ⅱ	2	3年前期			
	老年看護学臨床実習Ⅲ	2	3年前期			
健康問題への 対応	精神	精神看護学概論	1	2年前期	5単位	
		精神看護援助論	1	2年後期		
		精神看護技術論	1	3年前期		
	在宅	精神看護学臨床実習	2	3年前期	5単位	
		在宅看護学概論	1	2年後期		
		在宅看護援助論	1	2年後期		
	健康問題への 対応	在宅	在宅看護技術論	1	3年前期	5単位 以上
			在宅看護学臨床実習	2	3年前期	
			在宅看護学臨床実習Ⅱ	2	3年前期	
		健康問題への 対応	リハビリテーション看護学	1	3年前期	5単位 以上
がん看護学			1	2年後期		
認知症ケア			1	3年前期		
透析ケア			1	3年後期		
重症集中ケア			1	3年後期		
救急看護学			1	3年後期		
放射線医療管理論			1	3年後期		
ペリネイタルケア	1	3年後期				
パリアティブケア	1	3年後期				
寒冷地医療	1	3年後期				
コミュニ ティケアに 関するもの	地域看護学概論	1	3年前期	8単位		
	地域看護援助論	2	3年後期			
	地域看護技術論	1	4年前期			
	ヘルスプロモーション活動論	1	4年前期			
	地域看護学臨床実習	3	4年前期			
発展・統合に 関するもの	看護管理学	1	4年前期	11単位 以上		
	看護教育学	1	3年後期			
	卒業研究	4	4年			
	ヘルスケアマネジメント実習	3	4年後期			
	看護情報学	1	4年前期			
	災害看護学	1	4年前期			
	国際看護学	1	4年前期			
	国際保健学	1	4年前期			
	医療経営学	1	4年前期			
	医療安全管理論	1	4年前期			
現代専門職論	1	4年前期				
学部連携	学部連携演習	2	3後~4前	2単位		
	合計				77単位以上	

概要

教育活動

研究活動

社会活動

平成20年度入学者選抜結果

附属図書館

役員会
及び教育
研究審議会

学内運営の概要

資料

② 卒業要件

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	12	16	28
専門教育科目	92	6	98
(専門基礎科目)	(19)	(2)	(21)
(専門科目)	(73)	(4)	(77)
合計	104	22	126

3) 教育活動

授業科目・担当教員	授業形態・時数	年次	科目のねらい・目標
形態機能学 I ★高野 廣子	演習 60時間	1年次 前期	形態機能学では、生物学的側面の人間、身体の構造と機能、生命現象の論理的な思考について理解する。ここでは、人体を構成する細胞・組織など基本となる構造のほか、人間の身体の調節系と統御系について、その構造と機能を病態に関連付けて学習する。(人体の構造、細胞、組織、神経系、内分泌系、呼吸器系、泌尿器系、消化器系)
地域保健学概論 ◎清水 光子 加藤 登紀子 新納 美美	講義 15時間	1年次 前期	保健・医療・福祉の考え方を基盤に、住民主体の保健・医療・福祉活動の基本理念や考え方について学習する。また、産業保健の基本的な知識や保健指導の基礎についても学ぶ。
看護学原論 河野 總子	講義 15時間	1年次 前期	看護学の構築(要素)を基盤とし、生活する人々の体験として健康と健康障害、それを巡る人々の取り組み、そこにかかわる看護実践の方法や場を通し、「看護とは何か」について考え、さらに発展させる基礎とする。
看護初期実習 ◎大野 夏代 清水 光子 守村 洋 菊地 ひろみ 佐藤 公美子 菅原 美樹 高室 典子 新納 美美 藤井 瑞恵 星 美和子 村松 真澄 保田 玲子 渡邊 由加利	実習 45時間	1年次 前期	保健・医療・福祉の看護職が活動する場において、看護職や関連職種の活動を見学体験し、保健・医療・福祉分野への関心と理解を深め、看護学を学ぶ動機付けとする。看護の実際を見学することにより、他職種の専門性と看護職とのかかわりを理解する。
看護観察技術論 ◎大野 夏代 佐藤 公美子 星 美和子	演習 30時間	1年次 前期	アセスメントを基本的人間観察論と位置付け、バイタルサインズ及びフィジカルアセスメントを中心とした技術演習を行う。特に看護過程の一部として状態把握の基礎技術の重要性について演習を通して学ぶ。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・目標
形態機能学Ⅱ ★高野 廣子	演習 60時間	1年次 後期	人体の構造と機能について、ここでは、循環器系、血液・造血管系、免疫系、生殖器系、発生学、感覚器系、運動器系について構造と機能を統合して学ぶ。さらに、人体の構造と機能が人間の健康障害や疾病、特に病態生理とどのように関連しているかを習得する。
薬理学 ★富樫 廣子	講義 15時間	1年次 後期	医薬品の生体に及ぼす作用について理解し、医薬品の有効性、安全性、薬物が生体に作用する仕組みを幅広く学ぶ。また、薬物の相互作用による副作用を学ぶとともに、主な疾患の薬物療法に必要な基礎知識を習得する。
病理病態学 ★小林 正伸	演習 60時間	1年次 後期	病理学の概念、病因論、病変の特徴、健康障害の仕組みについて学び、各器官における疾病を学ぶ上での基礎知識を習得する。また、人体に備わる病態からの回復機構とともに生態防御機構についての概要を理解する。
感染予防論 ★滝沢 慶彦	講義 15時間	1年次 後期	微生物学的基礎を踏まえ感染症の概念、病原体の特徴と疾患、治療について理解し、免疫現象が病気・病態とどのようにかかわっているかを理解する。また、病原体と免疫反応から感染の予防について学ぶ。
看護理論 中村 恵子	講義 15時間	1年次 後期	看護の実践において用いられている看護理論の意義と理論構成について、歴史的発展を踏まえて理解する。また、それぞれの理論や看護モデルを通して、看護の主要な要素とその概念について学ぶ。
人間発達援助論 ◎宮崎 みち子 中村 恵子 坂倉 恵美子 松浦 和代	演習 30時間	1年次 後期	人間を生涯発達の視点でとらえ、人間発達の共通性と特異性を理解する。また、人間の発達段階各期における看護援助の視点を明らかにし、母性、小児、成人、老年における看護を理解するための基礎的知識を学ぶ。
看護過程論 ◎大野 夏代 佐藤 公美子 渡邊 由加利	演習 30時間	1年次 後期	対象の健康問題を解決するために、アセスメント、看護診断、計画立案、実施、評価と一連の“問題解決思考と行動”及びそれを支える看護理論を用いながら看護過程の実際を学習する。
基礎看護技術論 ◎樋之津 淳子 大野 夏代 菊地 ひろみ 佐藤 公美子 藤井 瑞恵 星 美和子 渡邊 由加利	演習 60時間	1年次 後期	対人関係の基本を学ぶとともに、看護行為に共通な援助技術、日常生活行動を促進する技術、生命活動を支える技術、治療・処置に伴う援助技術などの導入として、看護の基本となる実践的援助技術を主体的に学ぶ。

概要

教育活動

研究活動

社会活動

平成20年度入学者選抜結果

附属図書館

役員会
及び教育
研究審議会
経営審議会

学内運営の概要

資料

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・目標
基礎看護学臨地実習Ⅰ ◎樋之津 淳子 大野 夏代 菊地 ひろみ 佐藤 公美子 星 美和子 渡邊 由加利 太田 晴美 神島 滋子 河村 奈美子 工藤 京子 小坂 美智代 進藤 ゆかり 多賀 昌江 塚辺 繭子 鶴木 恭子 照井 レナ 福島 眞理 松村 寛子 三上 智子	実習 45時間	1年次 後期	患者のおかれている入院施設ならびに生活環境を看護の視点で観察し、看護の働きかけを体験的に学び、今後の学修の動機づけとする。 具体的には、 1 入院している人々の生活環境を知り、療養生活への思いや健康状態、健康ニーズを学ぶ。 2 実習病院の保健医療福祉チームを構成している各部門の概要と役割機能について学ぶ。 3 対象に行われている看護援助場面を観察する。 4 看護実践に必要な基本的態度を身につけ、ヒューマンケアの基本を学ぶ。
生命科学 ★山田 恵子	講義 15時間	2年次 前期	分子生物学からゲノムサイエンスまでの発展の歴史を概観しながら、生命観の変遷を学ぶ。また、生命科学の基本である遺伝情報について、遺伝情報の流れや遺伝子発現制御などに関する理解を深める。さらに癌、老化と寿命、生活習慣病と遺伝子の関係について学び、生命と科学に対する理解を深める。
生命倫理 ★村上 友一	講義 15時間	2年次 前期	近年、先端医療において、従来の生命観と価値観が対立するような事例が生じ、それらを反映して医療をめぐる倫理観にも新しい変化が生じてきた。対象の意思を尊重し、人権と自由の保護を基盤とした生命と倫理について理解する。
環境保健 ◎加藤 登紀子 ★齋藤 健	講義 15時間	2年次 前期	健康を考える上で、環境は重要なウエイトを占める。とりわけ、現代社会では人間活動の影響を強く受けた環境によって、かつて経験したことのない新たな健康問題が引き起こされている。環境破壊と健康障害等の事例から、健康にとって環境の持つ意味及びそれらが人間の活動にどれだけ影響を及ぼしているかを理解する。
人間工学 ◎樋之津 淳子 田中 敏明	講義 15時間	2年次 前期	保健・医療・福祉分野、看護援助における機械・器具、空間と人間との好ましい対応関係など、安全性・快適性・効率性を考慮した人間工学の基礎的な概念を理解する。 1 人間工学の基礎的な概念と看護学との関係を理解する。 2 人の動作に必要な機能の特性を理解する。 3 人の生体計測及び動作分析方法の基礎を学ぶ。 4 看護ケア・福祉機器、病院環境の諸課題を人間工学の視点から学ぶ。
臨床栄養学 ★高野 良子	演習 30時間	2年次 前期	栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的な栄養マネジメントの考え方を理解し、具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について学ぶ。 到達目標 1 健康時の「栄養状態」を評価・判定できる 2 「栄養状態の特徴」に応じた栄養マネジメントを理解できる 3 患者に「栄養マネジメント」の基本を説明できる

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・目標
疾病治療学概論 ★富樫 武弘	演習 30時間	2年次 前期	人の健康を損ねるものには極めて多くの疾病がある。しかしながら、多くの疾病に共通した発生の要因があり、いくつかの疾病で似たような特質を有している。ここでは、主な疾病の基礎となる症状並びに疾病発生の仕組み、検査の方法、治療法に関する基本的な知識を学ぶ。また、治療を行う上で必要となる麻酔法に関する基礎的な知識についても習得する。
疾病治療学A ★小倉 滋明	演習 30時間	2年次 前期	疾病治療学概論を踏まえ、疾患の成立にかかわる基本的病態の概念とそれぞれの疾患について各臓器・器官がどのような病態を疾病と称し、要治療となるのか学習する。ここでは、呼吸・循環器系、血液代謝系についての機能のメカニズムと心身との相関関係について理解し、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害と診療方法の基礎的知識を学習する。
疾病治療学B ★向井 正也	演習 30時間	2年次 前期	疾病治療学概論を踏まえ、疾患の成立にかかわる基本的病態の概念とそれぞれの疾患について各臓器・器官がどのような病態を疾病と称し、要治療となるのか学習する。ここでは、消化器系、骨・筋肉、腎・泌尿器系の機能のメカニズムと心身との相関関係について理解し、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害と診療方法の基礎的知識を学習する。
公衆衛生学 ★村松 宰	講義 15時間	2年次 前期	人々を取り巻く環境は、人間の生理機能に影響を与え、健康の保持増進、健康障害の発生にかかわっている。地域で生活するすべての人々の疾病の予防から、より良い健康レベル獲得を目指すなどの健康に関する問題について、医学的、社会的、疫学的、医療行政的視点から学び、組織的な保健活動について学習する。また、人々の健康を守り、増進するための基礎的知識を習得する。
社会福祉学 ★大内 高雄	講義 15時間	2年次 前期	現代における社会福祉の概念とその歴史の変遷について学習し、併せて、社会福祉と社会保障の関係を理解する。また、保健・医療・福祉の連携が重視されていることから、日常生活における福祉の果たす役割、今後の方向性についても学ぶ。
家族社会学 原 俊彦	講義 15時間	2年次 前期	人間生活の基礎的な単位である家族が、現代社会で大きく変化しつつある現状を見据えながら、社会における家族の役割及び生活の場として家族が個人に果たす役割や機能について理解する。
医療情報 ★櫻井 恒太郎	演習 30時間	2年次 前期	医療情報学は比較的新しい学問分野であるが、コンピュータ技術だけを扱う学問ではない。医療の専門家として適切な方針の選択をしたり、病院や地域で医療の質を向上するために、各種の情報を適切に扱うための知識、技能及び倫理を身につける必要がある。この授業では、そのような広い視野に立つての医療情報学の教育を目指す。
症状マネジメント論 ◎樋之津 淳子 大野 夏代 菅原 美樹 藤井 瑞恵 村松 真澄 ★須田 恭子	演習 60時間	2年次 前期	健康障害時の臨床症状の表れ方と人体機能の変化、特に生体試料である血液や尿等における種々の成分の変化との関連性を解析する。また、代表的な病態の自覚的及び他覚的な臨床所見の見方、臨床検査データの読み方、治療経過の評価を基に、看護の臨床の場で役立つ症状マネジメントを修得する。

概要

教育活動

研究活動

社会活動

平成20年度入学者選抜結果

附属図書館

役員会
及び教育
研究審議会
経営審議会

学内運営の概要

資料

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・目標
基礎看護学臨地実習Ⅱ ◎樋之津 淳子 大野 夏代 菊地 ひろみ 佐藤 公美子 星 美和子 渡邊 由加利 太田 晴美 神島 滋子 河村 奈美子 工藤 京子 小坂 美智代 進藤 ゆかり 多賀 昌江 塚辺 繭子 鶴木 恭子 照井 レナ 福島 眞理 松村 寛子 三上 智子	実習 90時間	2年次 前期	医療機関で療養生活を送る患者様を担当し、基本的な欲求に基づく生活援助を中心に看護過程を展開する。生活援助における基礎看護技術の一部を安全・安楽に実践するとともに、ケアの説明と同意を得るためのコミュニケーションスキル、看護ケアの実践的方法を学ぶ。以上により、看護の対象となる患者様やご家族の特性及び看護の必要性についての理解を深め、今後の学修のモチベーションを高める。
成人看護学概論 中村 恵子	講義 15時間	2年次 前期	成人期にある対象の身体・精神・社会的な特徴を理解し、対象の成長・発達を促す成人看護の中心概念とその理論について学ぶ。また、成人期にある人々の健康上の諸問題を総合的に学ぶとともに生活習慣と健康障害の関連など成人保健活動の基本について理解する。
成人看護援助論 ◎中村 恵子 菅原 美樹 ★須田 恭子	講義 30時間	2年次 前期	健康障害の病態と治療等を通して、成人期における生活習慣病などの健康障害を有する対象と、その家族に対する基本的看護援助方法について学習する。また、生活習慣病予防のための健康増進対策など、成人保健活動の援助についても学ぶ。
老年看護学概論 坂倉 恵美子	講義 15時間	2年次 前期	社会の構成員としての高齢者の存在の意味を考え、高齢期の特徴とその生活について、加齢による健康的側面と社会環境の側面から理解を深める。また、老年保健及び老年看護活動の基本的考え方、方法について学習する。
精神看護学概論 ★阿保 順子	講義 15時間	2年次 前期	精神保健医療の変遷と現状を学びつつ、精神の成り立ちとメカニズムを知り、精神健康の保持増進及び疾病の予防と回復を援助する精神看護の役割と課題について理解する。また、精神障害のある対象の人権や福祉、精神保健について考える。
臨床薬理学 ★唯野 貢司	演習 30時間	2年次 後期	薬理学で学んだ基礎的知識をもとに、臨床で使用されている薬物の中で、特に基本となる薬物について、投与方法及び量と薬理効果の関係、薬物が人体に作用する仕組みとともに理解する。また、薬物を使用する際に安全面で重要なことや看護における注意点を理解する。
疾病治療学C ★三澤 一仁	演習 30時間	2年次 後期	疾病治療学概論を踏まえ、疾患の成立にかかわる基本的病態の概念とそれぞれの疾患について各臓器・器官がどのような病態を疾病と称し、要治療となるのか学習する。ここでは、脳・神経系、感覚器系の機能のメカニズムと心身との相関関係について理解し、あらゆる健康状態にある対象と家族への看護実践に必要な健康障害と診療方法の基礎的知識を学習する。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・目標
チーム医療論 ◎河野 總子 中村 恵子	講義 15時間	2年次 後期	医療従事者として、チーム医療について必要な知識を習得する。社会環境の変化に伴い、医療が細分化されるとともに高度な内容となってきており、医師が中心であった医療から対象を中心とした専門家集団による医療が求められるようになった。このことを踏まえ、医療従事者間の連携や協働について学ぶ。
感染管理論 ◎スーディ神崎 和代 ★石角 鈴華	講義 15時間	2年次 後期	人間を中心とした医療、看護、介護の立場から感染管理対策を学ぶ。また、医療機関などの施設における感染管理の重要性について理解する。
臨床心理学 ★葛西 康子	講義 15時間	2年次 後期	本講義では、臨床心理学を対人援助学及び「ケアをすること」として捉え、健康問題と人間心理の関係や、病的状態における心理的な援助方法など臨床心理学の基本的考え方の習得をめざす。「ケアをすること（＝ケアリング）」とは、健康問題に関わる援助実践を含んだ、人間の成長・発達への支援を意味している。このプロセスに生起するケアの受け手との関係性と協働作業について、治療的人間関係、信頼関係を形成するための心理学的的方法論など看護実践の場で利用可能な基本技術について、臨床心理学の知見を紹介し学び合いたい。
援助的人間関係論 ◎大野 夏代 樋之津 淳子 藤井 瑞恵	演習 30時間	2年次 後期	看護の基本をなす対象との援助的人間関係の形成について理解を深めると共に、コミュニケーションの理論と技術を修得する。また、受容共感や自己の対応パターンを確認し、信頼関係を確立して自己と他者との関係が成立することによって援助が可能となることを学ぶ。
看護倫理学 ◎宮崎 みち子 ★リボウィツ志村 よし子	講義 15時間	2年次 後期	看護職に必要な倫理に関する基本的な知識と倫理的意思決定を行うための枠組みを理解する。さらに、看護ケアを行うという状況の中で、自分の価値と他者の価値を吟味し、倫理的観点からその価値の意味を考察する。
小児看護学概論 松浦 和代	講義 15時間	2年次 後期	前半の講義では、乳児期から思春期までの「子どもの成長・発達」及び「家族の発達」に関する知識と基礎理論を学習する。後半の講義では、子どもの健康生活、育児支援、生活指導、ヘルスプロモーションやセーフティプロモーションの概要を学ぶとともに、今日の課題を考察する。総じて、小児看護の役割、責務及び実践活動の意義を理解する。
母性看護学概論 宮崎 みち子	講義 15時間	2年次 後期	周産期のみならず広く各ライフステージにある母性とその家族の特性を身体的、心理的、社会的側面から捉え、現代社会に生きる対象について多面的に理解し、母性保健及び看護活動について学習する。
成人看護学臨地実習Ⅰ ◎藤井 瑞恵 菅原 美樹 太田 晴美 神島 滋子 河村 奈美子 工藤 京子 小坂 美智代 進藤 ゆかり 多賀 昌江 塚辺 蘭子 鶴木 恭子 照井 レナ 福島 眞理 松村 寛子 三上 智子 ★須田 恭子	実習 135時間	2年次 後期	成人期にある対象を科学的視点でアセスメントする能力を習得し、個々の対象の健康レベルに応じた援助を実践するため、学習した技術を用いて看護過程を展開する能力を養う。 実習目標 1 成人期にある対象をライフサイクルの側面から捉えることができる。 2 成人期にある対象の健康障害、健康レベル、環境をアセスメントすることができる。 3 成人期にある対象を身体的、心理的、社会的側面を持つ人として捉えることができる。 4 健康課題を解決するために援助方法を計画することができる。 5 受け持った事例の状況に合わせて援助を実施し、評価することができる。 6 援助的人間関係を通して自己及び他者の成長につながるかわり方を考えることができる。 7 自己の看護に対する考え方を深めることができる。

授業科目・ 担当教員	授業形態・ 時数	年次	科目のねらい・目標
老年看護援助論 ◎坂倉 恵美子 村松 真澄 ★東出 俊之	演習 30時間	2年次 後期	老年期の加齢的变化や特有の疾病、症状についてその背景、原因、病態、治療等を学び、高齢者及びその家族を対象とした基本的看護援助方法について学習する。老年期にある人の健康障害に対する診断・治療過程における看護の方法を自立支援という視点から学習する。要介護者家族や高齢者ケアシステムについて理解し、政策的課題を明らかにする。
精神看護援助論 ◎守村 洋 ★阿保 順子 ★安田 素次	演習 30時間	2年次 後期	精神障害のある対象の生活を理解するとともに、健康障害の病態と治療などを学び、精神の健康上の問題に直面している対象とその家族に対する基本的看護援助方法を学ぶ。また、社会生活の上で生じるさまざまな心の健康障害を持つ人の理解を深め、ライフサイクル各期の精神保健について学ぶ。
在宅看護学概論 中村 恵子	講義 15時間	2年次 後期	地域での在宅生活の継続を目指して、対象の生活困難を解消するため、在宅看護の概念・諸制度を理解し、生活の維持・改善、健康の保持や増進に必要な看護活動の目的、展開方法と技術について学ぶ。
在宅看護援助論 ◎菊地 ひろみ 坂倉 恵美子 ★工藤 和子	演習 30時間	2年次 後期	健康障害をきたし、在宅看護の対象である在宅療養者及び要介護支援高齢者とその家族への理解を深めるとともに、在宅看護に必要な基本的な援助方法と、保健・医療・福祉システムの利用について学習する。
がん看護学 ◎樋之津 淳子 ★松山 茂子	演習 30時間	2年次 後期	がんの予防から診断と治療、さらに終末期における対象と家族を取り巻く状況を看護の視点から理解する。痛みの緩和等の症状マネジメント、対象の心身両面の苦痛を和らげる緩和ケアについても学び、がん看護の役割と看護活動について学修する。

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

4) 実習概要

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	平成19年6月11日～15日	市立札幌病院	81人
		札幌市第二かしわ学園	15人
		札幌市あかしあ学園	15人
		札幌市はるにれ学園	12人
		札幌市かしわ学園	12人
		札幌市みかほ整肢園	15人
		札幌市ひまわり整肢園	12人
		札幌北訪問看護ステーション	7人
		札幌白石訪問看護ステーション	9人
		札幌厚別訪問看護ステーション	6人
		札幌清田訪問看護ステーション	7人
		札幌西訪問看護ステーション	7人
		札幌市北区第2地域包括支援センター	15人
		札幌市東区第1地域包括支援センター	15人
		札幌市豊平区第1地域包括支援センター	15人
		札幌市中央老人福祉センター	15人
		札幌市東老人福祉センター	15人
		札幌市厚別老人福祉センター	12人
札幌市豊平老人福祉センター	12人		
札幌市南老人福祉センター	12人		
札幌市西老人福祉センター	15人		
基礎看護学臨地実習Ⅰ	平成19年10月29日～11月2日	市立札幌病院	216人
		手稲溪仁会病院	108人
基礎看護学臨地実習Ⅱ	平成19年5月21日～6月1日	市立札幌病院	481人
		手稲溪仁会病院	241人
成人看護学臨地実習Ⅰ	平成19年11月5日～22日	市立札幌病院	736人
		手稲溪仁会病院	236人
		KKR札幌医療センター	134人

概要

教育活動

研究活動

社会活動

平成20年度入学者選抜結果

附属図書館

役員会
及び教育
研究審議会

学内運営の概要

資料